



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 3 号
平成 26 年 6 月 2 日
練馬区立上石神井小学校
校長 高橋 忠太郎

ふれあい月間

校長 高橋 忠太郎

5月20日から、3泊4日の下田移動教室に行ってきました。3日目の朝は、屋上で朝会を行いました。屋上から見る下田の景色はまさに絶景です。背後に伊豆の山々が連なり、前方には太平洋の大海原が見えます。遠くには、伊豆諸島の島々も浮かんでいました。

2日目の夕食の時に、宿舎の職員の方が一人私の側に来て、「校長先生いい学校ですね。」と、上小をほめてくださいました。子どもたちの、どの場面のどの姿を見て、そう思われたのかは分かりません。上小の子どもたちがかもし出す雰囲気、子どもらしい素直さを感じられたのでしょうか。私は、何か誇らしく、うれしい気持ちになりました。裏面に子どもたちの感想が載っていますが、下田移動教室は、たくさんの思い出が残る、小学校生活を彩る充実した行事になったと思います。

東京都では、6月、12月、2月を「ふれあい月間」と命名し、「いじめ、不登校、暴力行為」等、問題行動の未然防止やそれらへの対応の充実を図るための特別月間としています。本校もふれあい月間の趣旨を踏まえ、問題行動の調査、児童へのアンケート調査、いじめ防止ポスター等の作成など、各種の取組を行います。それらを通して、状況をしっかり把握し、必要な対応を行っていきます。

かつて道徳の時間に、「いじめ」を題材とした、次のような授業を行いました。まず児童に、「いじめられやすい人とは、どんな人ですか。」と問います。子どもたちからは、「不潔な人」「周りの空気が読めない人」「自己中心的な人」「行動が遅い人」等々、黒板に書き切れないくらいたくさんの意見が出ました。意見が出尽くしたところで、今度は、「それでは、今、黒板に書かれてあることに一つも当てはまらない人は手を挙げてください。」と聞きました。一人も手が挙がりません。全員がどれかに当てはまっているのです。黒板に書かれてあるのは、他の誰でもない、自分たちが出した意見です。子どもたちは気が付きました。実は、学級の全員がいじめられやすい人だったのです。だから、あの人はちょっと変わっているからいじめていいなどということはない、いじめていい人などはいない、「いじめ」はいじめる側が100%悪い、というように授業は展開していきました。

人間は、一人一人生い立ちが違い、長所や短所があり、性格も様々です。学校にはいろいろな個性の子どもたちがいます。その子どもたち一人一人が大切にされ、「いじめ」などのない、楽しく安心して生活できる学校にしていきたいと思います。

6月行事予定



- 2(月) 委員会 ヤゴとり(3年)
- 3(火) こころの劇場(6年)
- 4(水) セーフティー教室(3・4年 5時間)
プール前検診(該当者)
- 5(木) 歯垢染色テスト(4年)
- 9(月) 春の読書旬間始 クラブ
- 10(火) 避難訓練
- 11(水) 【4時間授業】
- 12(木) 【5時間授業】
- 14(土) 学校公開日【月曜時間割 4時間】
- 16(月) 水泳指導始 クラブ
- 17(火) たてわり給食・遊び 周年航空写真撮影
- 18(水) 【4時間授業 下校13時】 周年学級写真撮影
- 20(金) 教材費・給食費引き落とし 春の読書旬間終

- 23(月) 委員会
- 24(火) 交通安全教室(1・3・5年)
たてわり給食・遊び 長い昼休み
- 25(水) 【4年2組以外4時間授業】
- 30(金) クラブ

7月

- 1(火) 【B時程5時間授業】区一斉防災訓練
- 2(水) リトルティーチャー(13:30~)
- 3(木) 都・学力調査(5年) 三者面談
【B時程5時間授業 掃除あり】
- 4(金) 三者面談【B時程5時間授業】
Cap 保護者会
- 7(月) 三者面談【B時程5時間授業】

※航空写真撮影は天候等により変更する場合があります



6年 下田移動教室

5月20日から23日までの3泊4日、下田移動教室に行ってきました。4日間とも天候に恵まれ、下田の海と山を思い切り楽しむことができました。友達のことをよく知っているつもりでいたのに、まだまだわかっていないこともあったようです。共に生活することで、今まで知らなかった友達の新たな一面や良さに気付くことができました。子ども達の感想をいくつか紹介します。

◆ぼくは生活班長だった。毎晩班長会議を食堂で行った。ぼくの班は夜遊んでいて特に目立つ班だった。何度もしかられたけど、最後の移動教室とても楽しかった。ここで一句。

夜更かしは いつもどこでも しかられる

◆磯遊びをした。ナマコ・ヤドカリ・八つ足ヒトデがいて、八つ足ヒトデはたとえ足が切れたとしてもまた生えてくることを教えてもらった。ここで一句。

磯遊び 不思議な生き物 いっぱいだ

◆下田海中水族館のイルカショーに参加。握手・合唱・わたしのサインでイルカがジャンプ。イルカとふれあい、意外なこともわかり、一石二鳥。

◆友達と協力する大切さを改めて感じた。班長中心に5分前行動を心がけて、声かけをした。前日の改善点を生かしながら、4日間楽しく学べた。

◆自分達のためになった行事だった。理由はシャボテン公園で友達の具合が悪くなくても、6年1組で協力し、自分達だけで臨機応変に素早く行動できたからだ。

◆全てが終わった後の夜の時間が何よりも心に残っている。友達と話をする時間が幸せだった。荷物を一緒に整理してくれたり、手伝ってくれたりしてくれる仲間が誇らしく思えた。こういう仲間を大事にしていきたいし、自分もそう思ってもらえる人間になりたい。

◆一番印象に残ったことは干物作りだった。生まれて初めて魚をさばいた。難しかったのは、はらわたを取るところだった。干物を食べたらとてもおいしかった。干物作りを通して命の大切さを感じた。

◆一番思い出に残ったことは宿舍の部屋でいつもは一緒に遊ばない友達と遊んだことです。トランプや劇などその場にいる人全員が楽しめたと思います。移動教室は友達とつながることが一番の目的ではないかと思いました。

◆印象に残ったのは、シャボテン公園での人生に1回できるかできないかのペリカンのエサやり。エサを投げるとあごがもっと大きくなった。その様子は今までご飯をすごく我慢しているようだった。ペリカンのように元気になりたい。

◆二日目に、釣り体験をした。ぼくは、釣り堀でやったので魚をいっぱい釣れると思っていたが、やってみると意外と早くエサを食われてしまい、一匹しか釣れなかった。でも、その一匹が大きかったのでうれしかった。友達の中には、タイを釣った人もいた。

◆移動教室三日目に弓ヶ浜まで歩いた。途中で歩くのが遅くなる人もいたけど、励まし合って歩いた。この移動教室で、改めて友達の大切さを実感した。これからも友達を大切にしようと思う。

◆移動教室二日目に、須崎遊歩道を歩いた。毛虫や大きな水たまりなどがあって、歩くのがつらかった。しかし、無事みんな歩ききったときは、すごくうれしかった。その後に食べたお弁当はとてもおいしく感じられた。

◆僕は行動班の班長だった。サボテンを見ているときに、女子とはぐれてしまった。探しながらの見学だったので、ゆっくり見られなかったけれど、逆によい経験になった。

春の読書旬間

6月9日(月)から6月20日(金)は読書旬間です。読書旬間には、今年もたくさん保護者の皆様にご協力いただいて朝自習の時間や中休みに読み聞かせを行います。中休みには時々教員も登場します。誰かに読んでもらい、みんなで共通体験をするという時間も子供たちにはとても楽しみなようです。また図書委員会による本の紹介やイベントがあります。今年度からは毎月1回朝読書の時間を設けており、教員も一緒になって、本を読んでいます。周りの雰囲気を感じながら一人一人が集中して本に向かう時間もとてもよいものです。

これから雨の多い季節になりますが、こんなときこそしっかりと本の世界に浸るのがぴったりです。ぜひご家庭でもお子さんと一緒に本を読む時間をつくっていただけたら幸いです。

6月の生活目標

休み時間のあそびをくふうしよう

新しい友だちとも慣れて、誘い合って遊ぶ姿が見られ、友だちの輪も少しずつ広がってきたようです。1年生も校庭遊びが始まり、遊具などを上手に使って、元気に遊んでいます。そんな1年生と一緒に遊んだり、温かく見守ったり助けたりする上級生の姿がとてもほほえましく感じます。

6月に入り、梅雨入りも間近です。今月は雨のため、校庭で遊べない日も多くなることでしょう。校舎内の過ごし方のきまりを確かめましょう。また、室内で安全に楽しく遊ぶにはどうしたらいいのでしょうか。クラスで話し合うなどして、遊びを工夫してほしいと思います。